



児童・生徒とともに

東京都特別支援学校陸上大会に表彰状を渡す係として行ってきました。本校からは、高等部の課外活動部の一部の生徒が参加しました。他校の選手も練習の成果を発揮して自己ベストを出して入賞しようと力一杯頑張っていました。表彰台の上では、とても嬉しそうな笑顔がたくさん見られました。

しかし、中には走り終わった時、トラックにうつ伏し、なかなか立ち上がれず、担当の先生に支えてもらって退場した選手もいました。思うように走れなかったのか、思っていた順位と違っていただけなのかは分かりませんが、悔しくてたまらなかったようです。あれだけ悔しがるといことは、今日の日を目指して、全力で練習してきたのだろうと思いました。どんなに練習しても、いつも思うような成果が出るとは限りません。むしろ、思うようにいかないことの方が多いかもしれません。大切なことは、目の前のことに全力で取り組み、結果を受け止め、喜んだり、悔しがったりして、次にどうつなげるかだと思います。

どんなことも常に全力で取り組み、児童・生徒とともに喜んだり、悔しがったりして、成長し続ける教職員でいるよう力一杯頑張ります。(山賀)

